

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	木村 茂喜	職名	准教授	学位	修士 (法学) (九州大学 1997 年)
----	-------	----	-----	----	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
社会保障法	社会福祉、責任、児童の権利、犯罪行為者、社会復帰支援

研究課題
福祉サービスにおける各主体の責任分担 権利主体としての児童を対象とする社会的支援のあり方 犯罪行為者に対する社会復帰支援と社会保障のあり方

担当授業科目
法学(前期) (看護学科) 法学(前期) (福祉学科) 日本国憲法(後期) (看護学科) 日本国憲法(後期) (福祉学科) 日本国憲法(後期) (栄養学科) 社会保障論 公的扶助論(前期) 司法福祉論(前期) 権利擁護論(後期) 初年次セミナーI(前期) 初年次セミナーII(後期) 専門研究 I 社会福祉特講 II (集中)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【全講義科目】</p> <p>2019 年度後期より、コメントカード兼用のマークシート式出席カードを導入し、出席確認・登録作業の効率化を図るとともに、学生から講義内容に関する質問・意見・感想をより気軽に提出するための便宜を図った。学生から提出された質問等への回答および意見や感想に関する所見を次回の講義の冒頭で述べた。</p> <p>限られた時間により多くの情報を学生に提供するため、詳細なレジュメや資料を配布した。レジュメ・資料を配布の際は、あらかじめ power point に枚数等の掲示を行った。</p> <p>講義は主に power point を用いて行い、学生の講義内容の理解の一助のため、写真・図表・グラフ・アニメーション等を多用して講義を行った。また、講義の冒頭においては、講義内容の継続性の確認および講義内容の理解をより確かなものにするため、「前回のおさらい」と題して前回の講義の要点を説明するとともに、学生が当日の講義内容・要点をあらかじめ認識するために、当日の講義内容に関する「本日のキーワード」を掲げた。</p> <p>やむなく欠席した学生への便宜を図るほか、学生が講義内容を復習・確認するための一助とするため、配布レジュメ・資料については、講義後に本学サーバに.pdf 方式でアップロードし、履修学生および希望する学生が自由にダウンロードすることを可能にした。</p> <p>授業科目名【法学】</p> <p>講義中に生活に密着した具体的な事例を適宜挙げ、「法」がさまざまな生活の具体的場面において密接に関わっているという、看護・福祉の各専門職をめざす学生にとって欠かせない認識を持つための工夫を行った。</p>

<p><b>授業科目名【日本国憲法】</b></p> <p>抽象的な憲法理論のイメージを具体化するために、特に基本的人権に関する多くの憲法判例を紹介するほか、とりわけ女性・性的マイノリティに対する差別の現状と憲法上の論点について重点的に講義を行い、学生の理解の一助に努めた。</p> <p>学生からの質問・意見等については、「授業貢献度」として成績評価に加えた。</p>
<p><b>授業科目名【社会保障論】</b></p> <p>非常に複雑な社会保険制度に関する知識を学生がより確実に習得できるよう、試験を2回（前期末・後期末）行った。</p> <p>講義レジュメの末尾に、講義内容と関連する国家試験の過去問を抜粋して紹介し、学生の目的意識、学習意欲の高揚に努めた。</p> <p>学生からの質問・意見等については、「授業貢献度」として成績評価に加えた。</p>
<p><b>授業科目名【公的扶助論】</b></p> <p>最低限度の生活を守るための最後のセーフティ・ネットとしての役割を担う生活保護制度の重要性を、他の社会保障制度との関連と併せて説明を行った。</p> <p>生活保護の申請拒否・保護の停廃止をめぐる問題のほか、近年の生活保護法改正・生活困窮者自立支援法についても触れ、学生の制度に関する関心を高めた。さらに、貧困の実態について紹介するビデオ鑑賞も行った。</p> <p>講義レジュメの末尾に、講義内容と関連する国家試験の過去問を抜粋して紹介し、学生の目的意識、学習意欲の高揚に努めた。</p>
<p><b>授業科目名【司法福祉論】</b></p> <p>社会福祉士国家試験の試験科目である「更生保護制度」の内容を踏まえ、更生保護制度に関する説明に重点を置いて講義を行った。</p> <p>制度と実際の業務との関連について、学生がより理解できることを目指すため、3名の外部講師（保護観察官・保護司・更生保護施設長）に講義を依頼した。</p>
<p><b>授業科目名【権利擁護論】</b></p> <p>成年後見制度や日常生活自立支援事業の概要についての講義に先立って、これら各制度を理解するために当然の前提となる憲法・民法・行政法の基礎について講義を行った。</p> <p>成年後見制度の理解をより深めるために、成年後見制度に関するビデオ鑑賞も行い、学生が、成年後見制度に関する具体的なイメージを理解するための一助とした。</p> <p>講義レジュメの末尾に、講義内容と関連する国家試験の過去問を抜粋して紹介し、学生の目的意識、学習意欲の高揚に努めた。</p> <p>学生からの質問・意見等については、「授業貢献度」として成績評価に加えた。</p>
<p><b>授業科目名【初年次セミナーI・初年次セミナーII】</b></p> <p>1年生を対象に、大学での「学び方」を学ぶ授業である。前期は「調べる」と「書く」ことに重点を置き、とりわけレポートの書き方に特化した内容で演習を行った。後期は、前期の内容を踏まえて「発表する」「討論する」ことに重点をおき、「論理的思考力」の基礎について、演習を行った上で、1クラスを4グループに分けて「ディベート」を行った。</p>
<p><b>授業科目名【専門研究I】</b></p> <p>伊藤周平『社会保障入門』（筑摩書房、2018年）を講読し、現行の社会保障制度が抱える問題点や課題について、学生と積極的な議論を行った。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本社会保障法学会	学会誌編集委員(2009年10月～2017年3月) 企画委員(2018年10月～現在に至る)	1995年12月～現在に至る
日本労働法学会		1998年5月～現在に至る
日本司法福祉学会		2008年8月～現在に至る
日本更生保護学会		2012年12月～現在に至る
日本障害法学会		2016年12月～現在に至る

九州社会法研究会	事務局員(会計監査担当)(2013年4月～2014年3月)	1995年4月～現在に至る
社会法判例研究会		1995年4月～現在に至る

2019年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 『法学概論—身近な暮らしと法—』	共著	2019年11月	嵯峨野書院	①法学の講義における様々な方法論をミックスした方法を基本に、全体としては、伝統的な法学の講義にしたがって、法全般のガイドとなるように、また、各法の分野においては、できるだけ身近な事例を用いて解説している。これから「法」を学ぶ者に対して、いわゆる「リーガル・マインド」が涵養されるように努めている。 ②編著：國友順市・畑雅弘 執筆：齋田統・増尾均・木村俊郎・田畑嘉洋・吉行幾真・坂本学史・木村茂喜 ③担当部分：第10章 労働・社会保障と法 (261～283頁) 総頁数：299頁 ④A5判
『よくわかる公的扶助論—低所得者に対する支援と生活保護制度』	共著	2020年3月	法律文化社	①社会福祉士指定科目「低所得者に対する支援と生活保護制度」の内容に準拠したテキストである。公的扶助制度の中心である生活保護制度のほか、ホームレス問題、子どもの貧困、生活困窮者自立支援など、近年の政策動向や生活保護をめぐる代表的な裁判例についても解説する。 ②編著：増田雅暢・脇野幸太郎 執筆：西山裕・木村茂喜・嶋田佳広・濱畑芳和・河谷はるみ・廣田久美子 ③担当部分：第4章 生活保護基準の考え方 (65～78頁)・第6章 生活保護の動向 (93～101頁)・第9章 生活保護と財政 (127～132頁) 総頁数：184頁

2019年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
『改訂版 社会福祉と法』	共著	2020年3月	放送大学教育振興会	④A5判  ①放送大学の2020年度開講の総合科目「社会福祉と法」(20)(ラジオ開講科目、主任講師：大曾根寛放送大学教授)用の印刷教材(テキスト)である。社会福祉と法との関わりについての講義が中心であるが、社会福祉の領域において市民との人権がいかん尊重されるかだけでなく、社会福祉に関わる事業者、行政機関、立法機関、国際機関の役割と責任という観点からも論じている。 ②編著：大曾根寛 分担執筆：原田欣宏・廣田久美子・木村茂喜・奥貫妃文 ③担当部分：第8章 社会福祉における紛争解決・第9章 社会福祉における行政責任・第10章 刑事司法と社会福祉(141～198頁) 総頁数：296頁 ④A5判
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				
(その他)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
放送大学 総合科目「社会福祉と法」 第7回～第9回	印刷教材執筆担当講師・放送 教材担当講師	2016年4月～2020年3月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

西南女学院大学生生活協同組合 理事長 2019年6月1日～2020年5月31日 図書委員会 委員 2018年4月1日～2020年3月31日 フォークソング部 顧問 KOIKOI 顧問
--